

## 交流人口・関係人口の拡大による地域の活性化

公民館名	黒沢公民館	人口（令和2年12月）	243人
		世帯数（ 〃 ）	120戸

### 1 公民館で力を入れてきたこと、これからも続けたいこと

少子高齢化、人口減少社会の真っ只中であって、正に一人暮らしの高齢者社会という地域的課題に直面している。このままでは地域が消える。この危機感を共有し、地域住民が一致団結し、地域課題の解決について、共通の目標をもって当事者意識を高めることとした。

人口の増が望めない状況下では、ふる里というキーワードで、交流人口、そして地域の特徴をキーワードに関係人口の拡大を図り、地域の活性化に舵を切ることとした。これまでは公民館が地域の拠点となって事業を主体的に取り組んできた。これからは、より高みへと公民館を基地にさらに活動を展開していきたい。

### 2 特色ある活動や行事・取組等の実践事例

#### ふる里サポーター制度の確立と交流人口の拡大 “拡大同窓会・かっぱランド夏まつりを通して”

#### (1) 旧黒沢中学校・旧三隅南小学校拡大（開校から閉校までの全卒業生）同窓会の開催



ふる里の応援団（ふるさとサポーター）になってもらうための呼びかけを行った。



#### (2) 同窓生を巻き込んだ「かっぱランド夏まつり」の開催



ふる里が頑張っている姿を見てもらい、ふる里の良さを同窓生にも味わってもらうことによって、交流人口の拡大を目指した。

◆自然に触れ、はしゃぐ我が子の姿に感動と涙そしてふる里への想いが・・・



#### (3) ふる里の真心を宅配便で 【ふる里のブランド米】 “いいね、黒沢”を出荷。



ふる里米「いいね、黒沢。」の申し込みがあった黒沢出身者には、送るだけではなく、ホームページを閲覧してもらうことや、機関紙「いいね、黒沢。」を届け、ふる里の情報を事細かにお知らせするなど、交流人口の拡大に努めている。



黒沢郵便局の窓口での様子